

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要と思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう奈良津2組

公表日 2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・臨機応変にスペースを分ける等工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・人員配置基準を満たしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・学習室や憩いルーム、運動室と活動内容に合わせて環境設定を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日の清掃や消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・学習室や相談室を必要に応じてクールダウンの場所としている。 ・落ち着いて過ごせる場所がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・朝礼時に前日の振り返りや当日の支援についての話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者様の評価は職員間で共有し業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・朝礼やミーティングで日々の情報共有や支援内容に関する意見を共有している。 ・出された意見は検討の上、支援の見直しや業務の効率化など改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・外部評価は実施していないが自己評価や保護者様評価を通して業務改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・法人内の研修があり、職員の質の向上を図っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・個別支援計画に基づきプログラムを作成し、保護者へ丁寧に説明・公表している。	公表方法の見直しや周知の工夫を行い、より分かりやすい情報発信を進める必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・モニタリングを行い、お子様や保護者様のニーズや課題を分析し計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・計画作成時にはカンファレンスを行い情報共有や意見交換の機会を設け最善の利益を考慮した計画の検討・作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・計画内容は共有している。	より具体的な支援方法の統一に向けて、定期的な振り返りや確認の機会を設けていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・支援記録や専門的支援記録を中心に状況把握を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・ガイドラインに基づき児発管が計画をし、支援項目を具体的に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員間で意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・職員間で意見を出し合ったり、子ども達の意見も参考にしながら工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・集団活動を主としているが、状況に応じて臨機応変に個別や小集団で対応している。 ・専門的支援も始まり小集団や個別で支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎朝の朝礼でレクリエーションや支援内容等の確認を行いチームで支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・日々の共有は行っている。	日々の共有は行っているが、十分な振り返り時間が確保できていないため、定例化や記録の活用により改善を図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・特記事項記録や専門的支援記録、朝礼やモニタリング時の記録などをとり、職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・定期的にモニタリングを実施し、目標の達成状況やこどもの変化を確認したうえで、計画の見直しを判断し、適切に計画の修正を行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせながら支援を行っているか。	5	0	・複数の活動を組み合わせながら行っている。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	5	0	・自由時間など自分でしたいことを選び表現する機会を設けている。 ・意思表示の難しい児童に対しては絵カードを使用して自己決定する機会を設けている。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・必要に応じて関係機関と連携を図っている。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・基本的には保護者様を通して、学校とも下校時刻等の情報を共有したり、送迎時の引き継ぎやトラブル発生時の連絡体制を整え、適切な連絡調整を行っている。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・必要に応じて情報共有を行っている。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・相談支援事業所を通じて情報提供を行っている。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		助言や研修機会が十分ではないため、今後は定期的な情報交換や研修参加を推進していく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		現在は交流の機会が少ないため、今後は地域資源を活用し、他のこどもと関わる機会を増やしていく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		今後参加予定である。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の様子は連絡帳でお伝えし、課題については送迎時に保護者様と共有している。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		・現状は情報提供にとまどっているため、今後は研修会やペアレント・トレーニングの実施を検討し、家族支援の充実を図る。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に行っている。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・こどもと保護者の意向を確認し計画に反映している。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・計画を説明し、保護者の同意を得ている。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・家族等からの子育てに関する悩みや相談に対し、随時面談や聞き取りの機会を設け、状況に応じた助言や具体的な支援を行っている。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・参観ワークショップや懇談会で保護者様同士が交流できる機会を設けている。	今後はきょうだい交流の機会を設けていく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情があった場合には迅速かつ適切に対応し、再発防止に努めている。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・夢通信や夢だより、ブログなどで活動概要を定期的に発信している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・鍵付きの書庫に保管し管理している。		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・絵カードやタイムスケジュールなどの視覚支援を行っている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・チラシを配布し、説明会や体験会を実施している。		
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各種マニュアルを整備し、定期訓練と周知を徹底している。	訓練内容の振り返りを強化し、実践力向上を図る必要がある。
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・BCPを策定し、定期的に避難・救出訓練を実施している。	訓練内容の見直しと職員間の役割共有を更に徹底する
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・事前に服薬・発作歴・予防接種状況を保護者と確認し共有している。	情報更新の徹底と職員間の迅速な共有体制の強化が必要
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・医師の指示書を基に全職員で情報共有し対応している。	緊急時対応訓練と保護者連携の更なる強化	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画に基づき定期的な研修と訓練を実施している。	訓練内容の見直しと全職員への周知徹底を強化する	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・安全計画に基づく対応内容を文書や面談で周知し、緊急時の対応方法を保護者と共有している。	安全計画の内容が十分に伝わっているか確認が不十分のため、定期的な説明や意見交換の機会を増やす必要がある。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットを共有し再発防止策を協議している。	記録の質向上と具体的な対策の徹底	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・年1回以上の虐待防止研修を実施し、外部研修への参加を通して職員の意識向上を図っている。 ・虐待防止委員会を設置し、アンケートの実施や日常的に声かけや支援方法の見直しを行っている。	研修内容の共有にばらつきがあるため、資料回覧や振り返りシートの活用を強化する必要がある。ヒヤリハット事例の蓄積と検証をより体系的に行う。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束は原則行わない方針とし、やむを得ない場合は切迫性・非代替性・一時性の3要件を満たすかを組織的に協議し決定している。 ・個別支援計画の記載について、委員会で議題に取り上げている。	緊急時の判断基準や対応手順について、職員間での共通理解をさらに深める必要がある。現在、記載の内容について検討中。対象児童のみで記載する。		
保護者様評価、自己評価についてまとめ							
異年齢間の関りが持てる、通所を楽しみにしているというご意見を頂き、引き続き保護者様やお子様安心して楽しく過ごして頂ける事業所を目指して参ります。今後は、保護者様同士の交流が持てる機会やご家族で参加して頂ける行事を開催していきたいと思っております。							